

## 第三種郵便物承認 HSK（遊ぼうよNo.92） 通巻4922号 2019年2月13日発行

2014年度は七尾駅前のバリアフリー状況を重点的に撮影してきました。介護タクシーの登場で自由に外出ができるようになりました。しかし、この介護タクシーも乗務員の高齢化、若い後継者がいないため存続が危うくなっています。現実に七尾市内に3社のタクシー会社で4台の介護タクシーがありました。介護タクシー専門の運転手が定年退職しました。その後継者にヘルパー資格を持った方が見つからないので介護タクシー事業から撤退したので自分たちも困っています。NPO法人の移送サービスも高齢化で辞めてしまいました。益々、私たちの外出が困難になってきました。

大阪や東京へ行く場合、朝早く七尾駅から金沢駅へ行く電車に乗る必要があります。しかし、これまでのように介護タクシーが朝早く動いていないので、旅行も難しくなりました。その場合、前日から金沢駅まで行ってホテルに泊まるしかないようです。

バリアフリー工事が終了し、車いすでも動きやすくなった七尾駅前、バスターミナル、のと鉄道のホーム、七尾から穴水間を走っている「のと鉄道」のラッピング列車などを撮影してまとめています。

七尾駅前といえば、パトリアというスーパーが入った商業施設と市役所などの施設が入った「ミナ.クル」というビルがあります。パトリアは以前ユニーなど多くのお店、七尾市役所の施設が入ったスーパーでした。バリアフリーも整備されていて買い物によく利用していました。しかし人口減少で過疎化が進み売り上げ減少のためメインのユニーが2年前に撤退したのです。それに伴いパトリアに入っていた多くのお店が撤退してガラガラな状態です。それでも「カジマート」というスーパーが入り高齢者などの地域住民の買い物に役立っています。

パトリアの3階に入っていた多くのお店が撤退したため3階はガラガラでした。そのため3階に「ミナ.クル」2階にあった七尾市の福祉課、七尾市本府中町の七尾サンライフプラザ（市民会館）にあった七尾市社会福祉協議会などが移転して来て高齢者・車いす利用者にとっては七尾駅前ということもあって利用しやすくなりました。



(※写真・七尾市健康福祉部)